

ふれまち八多

第198号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

「空き家おこし協力隊」発足!



活用されずに眠っている空き家ありませんか?

6月29日(木)に八多町自治協議会と長尾町自治会が「神戸里山・農村版空き家おこし協力隊」として新たに委嘱を受け、前年度から活動されている地域団体と意見交換を行いました。

「空き家おこし協力隊」は空き家所有者が感じる不安や悩みに対して、相談相手として寄り添いながら、空き家の新たな活用についてサポートを行うために委嘱された地域団体で、令和4年度は山田校下里づくり協議会、道場町連合自治会、大沢町地域事務局、神出町自治協議会において142件の空き家が掘り起されました。

八多町は美しい里山が広がる農村エリアと利便性の高い市街地エリアをあわせ持ったまちです。義務教育学校八多学園の開校もあり、近年、若い世代の移住相談や農村カフェ等の起業相談も増えていますが、受け皿となる空き家はなかなか出てこないのが現状（八多出張所への移住相談：42件〔令和4年9月～令和5年7月〕）。

少子高齢化で担い手不足が続いている農村部ですが、活用されずに眠っている空き家を地域の将来を託せる人材に繋いでいければ、地域課題解決の糸口になるかもしれません。淡河町の本陣跡やヌフ松森医院、八多町の里づくり拠点「ひの家ふえ」「magatama field」も元々は空き家でしたが、新しい担い手に引き継がれ、今ではたくさんの人が集う交流拠点になっています。

会の最後には、先輩方から「空き家おこしの活動に取り組むことが子どもや若い世代に対して『自分たちの手でまちを守っていく』というメッセージになった。継続・情報発信していれば、共感してサポートしてくれる人がきっと現れるので、一緒に頑張りましょう」と心強いエールをいただきました。

【空き家情報は

八多出張所又は各地区の隊員（地区長・自治委員）
までお知らせください】

北建設事務所に 令和5年度要望書 提出

6月19日(月)、八多町自治協議会の岡田孝久会長、森裕之・北芝寿郎両副会長、八多出張所の矢野所長・三浦係長の5人で北建設事務所を訪問。各地区長さんが中心となってまとめられた令和5年度八多町の要望書を福水所長に提出しました。全体要望は昨年と同じ2点。①屏風辻・滝・宮坂線の拡幅②歩道の整備です。各地区からも要望事項は合計63点。所長現地視察を経て秋には文書回答をいただく予定です。



なお、今年は八多学園の8年生・9年生が家庭科の授業で取り組んだ「わが町八多の安全マップ」も一緒にご連絡ください。

手渡しました。家庭科の授業では主体的に自分たちの町を安心して住めるような環境にしようとする態度を養うことを目標にしているそうで、昨年度は北消防団八多支団の方を講師に招き地域防災について学習しました。(ふれまち八多194号に掲載済み)この度、地域に目を向け、生活者の視点で危険だと思う箇所をマップにまとめました。改善策が25個も提案されています。生徒達が自分の町に目を向けることはとても大切な事で、福水所長にもよく説明しておきました。改善策のいくつかが実現すればと思います。

7月8日(土)、標記の会がふれあいセンターで開催されました。柿田会長のあいさつ、新育成委員の紹介の後、議事に入り令和4年度事業報告・決算報告の承認、令和5年度事業計画(案)、予算(案)を原案通り可決しました。役員は左記の通りです。(敬称略)

- ・会長 柿田 雅由
- ・副会長 西下 三鈴・藤崎 美代子
- ・監事 上畠 政昭・鶯尾 京子
- ・顧問 岡田 孝久

まちの絆は「あいさつ・声かけ」から

神戸市自治会連絡協議会あいさつ委員会

コロナ禍で希薄になつた人と人との関係を、もう一度あいさつ・声かけでつないでいこうと、令和3年度にスタートした神戸市自治連の「あいさつ・声かけ委員会」は、令和4年度より、神戸市の補助金「地域課題に取り組むNPO等に対する補助」の採択を受け、本格的にあいさつ・声かけ運動を開始しました。

安心・安全なまちの土台づくりとして、地域のいろんな団体の協働で、無理なく、楽しく一歩ずつ進めます。令和4年度はあいさつ運動に関する研修会を11月に、あいさつ懇話会を1月と3月に開催しました。また、あいさつ運動ツールとして腕章・のぼり・青バト用マグネットシートを作成。

令和5年度以降は見学会や現地懇談会を予定しています。また、事例発表や意見交換会も行い、あいさつ・声かけ運動のマニュアル化にも取り組みます。

ぜひ、一緒に「あいさつ・声かけ運動」に取り組みましょう。

令和5年度 八多青少年育成協議会総会

『八多学園と共に』 柿田 雅由

八多青少年育成協議会会長



八多小・中学校が義務教育学校に生まれ変わってから4ヶ月弱。後期課程の皆さんは「7、8、9年生」と呼ばれることに慣れましたか?5月にコロナが第5類へと移行し、学校行事も以前のように行われるようになります。新学校が、抑圧された生活の中でのスタートにならなくて本当に良かったと思います。

青少年育成協議会(青少協)は、言

うまでもなく子どもたちのための団体です。子どもたちが安心して健やかに育つよう見守っていきたいと考え、日々活動しています。世の中には危険がいっぱいです。どんなに気を付けていても全てを避けていくことはできません。それでも負けない強さを身につけて成長して欲しいと思っています。青少協の活動が、少しでもその手助けになればとの思いでがんばっています。青少協の活動が、少しでもその手助けになればとの思いでがんばっています。

八多小・中が八多学園になり、より一体感を持つた学校になつたと感じています。青少協もそれに寄り添い、共に歩んでいけたらと思います。

北区連合自治会令和5年度総会終る

6月14日(水)午後2時から標記の会が北区役所で開催されました。山谷博基理事を議長に選出、第1号議案(令和4年度事業報告・決算報告・記念事業基金報告)を原案通り承認。第2号議案で退任役員の補充の後、第3号議案(令和5年度事業計画案・予算案・記念事業基金予算案)を原案通り可決しました。最後に功労者の表彰で終了。

新役員は以下の通りです。(敬称略)

- ・会長 岡田 孝久(八多町自治協議会)
- ・副会長 南 亀次郎(ひよどり台連合自治会)
- ・会計 吉田 佳展(有馬町自治協議会)
- ・理事 山谷 博基(鹿の子台自治協議会)
- ・理事 黒田 光昭(有野台自治連合会)
- ・理事 田中 收(広陵町自治会)
- ・監事 大江 重治(長尾町自治会)
- ・監事 相馬 範久(鈴蘭台自治連合会)
- ・名誉会長 樽谷 清(北五葉連合自治会)
- ・事務局長 新井 忠吉(星和台連合自治会)

北区連合婦人会50周年記念式典

同時開催、第2回すずらんフェスタ



6月25日(日)正午から「ありまホール」で北区連合婦人会50周年記念式典が開催されました。高尾ひろ子会長、来賓のあいさつに続いて感謝状贈呈があり、八多婦人会の山口明美会長が10年以上会長表彰で北区連合婦人会会長感謝状を受けられました。おめでとうございます。

また、同時開催の第2回すずらんフェスタでは民踊やコーラス・詩吟・キッズ三味線など21団体の出演者が次々と素晴らしい演技を披露。「待ってました」「頑張って」などの声援も飛び会場は大いに盛り上りました。フィナーレは金本北区長・山本北神担当区長の生歌をバックに北区連合婦人会による「北来た音頭」の総踊り、会場全体が熱気につつまれました。



「八多淡河バス」の利用者数

4ヶ月連続1,000人越え!

「八多淡河バス」の6月の利用者数は1,180人(平日1,137人・土日祝43人)でした。4月につぐ1,100名越えで、3月から4ヶ月連続の1,000人越えとなりました。いつも多数のご利用ありがとうございます。

今後とも引きつきの乗車協力よろしくお願ひします。

「乗って残そう!八多淡河バス」



八多太鼓 新体制でスタートします



いつも八多太鼓の活動にご協力・ご支援をいただき誠にありがとうございます。

八多太鼓は、1993年の『八多音頭を楽しむ会』発足以来30年目の節目を迎えました。この度、長きにわたる八多太鼓の活動を真摯に牽引されてきた前代表中川俊彦氏、そして長年共に取り組まれてきた瓜生浜子氏・見取美智子氏のご勇退を受け、新たな運営体制でメンバー同士協力しあいながら引き続き活動をしていきます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

現在、八多町および近隣地区から和太鼓の力強い音に魅せられた小学生から成人まで幅広い世代の総勢22名が、毎週金曜日の18時から八多学園に集い、受け継いだオリジナル曲を和気あいあいと楽しく練習しています。

この夏、7月29日(土)の有野町地区合同夏祭り(馬場公園)に17:10より出演、8月5日(土)の八多町夏まつりには18:45より出演します。また、秋祭りや文化祭にも出演を予定していますので、ぜひ皆さん八多太鼓の迫力ある響きを楽しみに来てください。

そして、活発な社会生活が戻りつつある今、私たちと一緒に和太鼓を楽しみませんか?和太鼓経験者でも、音楽経験のない方でも、練習に通える方であれば、八多町以外の近隣地区の方も大歓迎です。お気軽に練習の見学や体験にお越しください。メンバー一同お待ちしています。

お問い合わせや、
イベント出演依頼
などは事務局メー
ル宛にご連絡をお
願いします。



hatakodama@gmail.com



「八多おやこひろば」



6月28日(水)午前10時15分より、八多町中地区公民館で幼児とその保護者対象の『八多おやこひろば』が開催されました。

当日は、親子12組の参加がありました。

前半は、音楽に合わせてドレミファソラシドの体操をしたり、童謡「雨ふり」のリズムゲームをしたりするなど、三村裕子先生指導のもと、リトミックで楽しいひと時を過ごしました。

後半は、紙コップで作ったカエルの工作で歌に合わせてコップを飛ばすなど子どもたちを退屈させないプログラムが沢山準備されていました。

この『八多おやこひろば』は、年間4回開催予定で今回は第1回目のリトミックでした。今後は、第2回目が、9月27日(水)「だっこで絵本」、第3回目が、11月22日(水)すずらんだい児童館の先生による「楽器と絵本の読み聞かせの会」、第4回目が、1月24日(水)「薬の話(薬剤師による)」の予定です。(変更する場合があります。)興味のある方は、是非ご参加ください。

*問い合わせ先: 神戸市立八多児童館 電話982-3569



令和5年度
八多町
夏まつり

8月5日(土)は4年ぶりの夏まつりです。
みんなそろってふれあいセンターにお越し
ください。

8月5日
17:00~20:00
(小雨決行・荒天中止)
主催: 八多町自治協議会
共催: 八多ふれあいのまちづくり協議会

お楽しみ抽選会
地域振興券
特賞 10,000円×1本
1等 5,000円×5本
2等 2,500円×10本
3等 1,000円×20本

会場: 八多ふれあいセンター(駐車場: 八多町公園グラウンド)

今回、1面で特集しましたが、今年から八多町自治協議会も神戸農政公社から「空き家おこし協力隊」の委嘱を受けて活動を開始することになりました。近隣の大沢町や道場町・尾町・淡河町などとも協力し取り組みたいと考えています。空き家情報がありましたら、八多出張所か各地区的自治会役員さん(地区長・自治委員)にご連絡ください。ご協力お願いします。

さて、8月5日(土)は4年ぶりの「八多町夏まつり」をふれあいセンターで開催します。みんなで盛り上げたいと思います。お誘いあわせのうえお越し下さい。お待ちしています。

編集後記



この度、有馬防犯協会八多支部(上畠政昭支部長)が全員協力して地域安全部活動を積極的に推進され安全で明るく住みよい地域社会の実現に尽くした功績で神戸防犯協会から感謝状をいただきました。おめでとうございます。

有馬防犯協会八多支部に感謝状

おめでとうございます

ふれあいセンターが資源回収ステーションに!



神戸市ではリサイクルを見える化し、一步進んだ資源リサイクルを推進するために資源回収ステーションを2021年に長田区の「ふたば学舎」にオープンしました。その後、各区で広げ今年の秋からはふれあいセンターに資源回収ステーションがオープンすることになりました。資源回収ボックスの設置や、リサイクル資源の回収、コーヒーの提供など、環境局がお手伝いしてくれます。回収品目の決定やいつから始めるかは今後環境局と協議していきます。みなさんのご協力をお願いいたします。

資源出しついでにふらっとおしゃべり 資源回収ステーション

メニュー内容

リサイクルを見える化し、一步進んだ資源リサイクルを推進しましょう。資源だしついでにふらっとおしゃべりできる場をつくりませんか?



資源回収ステーションの例

おすすめポイント

- 資源出しをきっかけに、ご近所同士の交流が生まれる機会を提供することができます。
- 資源回収ボックスの設置と資源回収を環境局が担います。



注意点

【資源回収ステーションの設置要件】

- ペットボトル、ペットボトルキャップ、食品トレー、透明容器、歯ブラシ、チヂチ、つめかえパック、びん(無色・茶色・その他)の中から4品目以上回収すること
- その他品目
 - 紙パック、新聞、雑誌、段ボール、古着古布については、資源集団回収の助成金が適用される場合がありますので、環境局業務課へご相談ください。
 - 資源を受け入れる体制があること
 - 週4日以上開館し、開館時は常設すること
 - 原則、屋内に設置し、資源持ち込み者のコミュニティスペース活用を図ること

【環境局の支援】

- 集めた資源を回収します(月1~2回程度)
- 回収品目に合わせた資源回収ボックスを提供します。